

いまどきの歴史

一番新しい日本のページ

ピッキング
マンションのセキュリティ強化は
管理者と住人の意識向上が大切

昨年から全国的に金属棒などを使って錠をはずす「ピッキング」の被害が相次いでいる。単身者マンションが多い京滋地区でも被害が増加しており、当局は市民に注意を呼びかけている。一部マンションでは、より複雑な構造でピッキングが非常に困難な新型シリンドア錠に取り換えたところもあるが、それは運が良いケース。この「新型錠」、今や最大3カ月待ちという品薄状態なのだ。

ただ、ピッキング犯罪が増加している今、賃貸マンションの管理者の意識が高まっているかというところ、そうでもないところはまだ多いようだ。あるマンションに引っ越して錠をもらったら、どう見ても古い錠だったという話も聞く。住人が変わる度に錠を交換するという当たり前のこともできていないのだ。オートロック導入など譲り文句にしてる賃貸マンションが多いけど、それよりも大切なのは各部屋のセキュリティ。これの徹底をはかるのは管理者の義務であり、セキュリティを要求するのは住人の当然の権利なのだ。マンションに住む人は、これを機に新型シリンドア錠の導入を大家さんに頼んでみては？

クローン人間誕生？
クローン技術の不妊治療は
親のエゴに火をつける！

妖○人間B君の証言

30年遅く生まれてたら
僕たちだって…



米国とイタリアの不妊治療専門医のチームが世界初のクローン人間をここ1~2年で誕生させると発表。医療倫理などが問われている。確かに不妊症のカップルの悩みは切実。あらゆる努力を尽くしても子供を授かることができないのは、本当に辛いことだ。しかし、クローン技術による妊娠・出産がベストな不妊治療とは思わない。なぜならクローン技術は知的レベルや健康、寿命をも操作できる技術。最初は「とにかく自分たちの子供さえ授かれれば…」と願っていたカップルも、クローン技術による妊娠出産が可能になれば「より健康な子供を」「より知的レベルの高い子供を」という欲も湧いてくるはず。不妊症で心を痛めているカップルに親のエゴを呼び起こすような技術を導入するのは尚早だ。それよりも本来の不妊治療の技術向上に努め、不妊症のカップルがより最先端の不妊治療を受けられるように健康保険の適用枠を拡大するなど、他にもできることはないのだろうか。

このままではカリスマまで
できてしまうぞ!!



あなたの心の
鍵までも
あつという間に
開いて
みせよう

来世紀には
ロボットにも適用か？



みんな
捨てる
やないの？

何ぞ
アコンの？

リサイクル時代

ゴミ分別を徹底していない京都に 循環型経済社会を担えるのか？

4月1日から家電リサイクル法が施行されている。対象は「ブラウン管テレビ」「エアコン」「冷蔵庫」「洗濯機」の4品目。これらを消費者が廃棄したい場合は、消費者が小売りに連絡し「収集・運搬料金」「再商品化のための料金」を支払わなくてはならない。この費用をもとに家電は資源として再生され、再び何らかの製品に生まれ変わる。

この法は循環型経済社会を目指して制定されたもの。しかし、消費者にとって循環型経済社会において重大な役割を担うという意識はまだ薄いように思える。特に京都市は家庭ゴミの分別すらいかがげんな行政区。もし、この家電リサイクル法に違反して罰を受けたとしても「何が悪いのか」さえ理解できない人が依然多いのではないだろうか？ ご老人や、就学のため一時的に京都に住む学生が多い京都市は特に家電リサイクル法の説明を徹底すべき。市や区の職員が赴き、町単位やマンション単位で説明会を開き、もっと理解を深めるよう努めてほしい。



文◎大塚 祐希

1968年大阪府八尾市生まれ。昔ながらの京都の民家を仕事場とするライター集団「大塚祐希事務所」の監定CEO。「スポーツが好きだが自分ではやらない」「車が好きだが免許を持っていない」「酒が好きだが飲むと店で眠ってしまう」という数々のジレンマと戦いつつ、今日も愛機G4を駆る。



イラスト◎両口 和史

1967年京都市生まれ。京都精華大学美術学部卒業。北山のオフィスにて様々なキャラクターやイラスト制作をおこなうユニット「キャロット・イラストレーション」のチーフ。猫、フランス車、家具、雑貨、レコード、本、おもちゃ、平日の公園。それらがイラストを構成するエッセンスである。HP●<http://www.d1.dion.ne.jp/~nyoguchi>